

【編集後記】

なにわ大阪研究第3号をお届けします。今号は研究ノート3篇からなります。拙稿はなにわ大阪にゆかり深い契沖の墨蹟紹介という、文献資料にかかわるもの、林副センター長と奥村・寺田氏は、文理融合型の最前線の研究、杉本前センター長は、現代の社会問題を取り上げたものと、それぞれ異なる研究方法の3篇での編集となりました。本センターの趣旨に沿った多様性が、偶然にもあらわれたかたちとなりました。

昨年10月1日より、杉本センター長から、責務を引き継ぎました。センターの充実に努めてまいる所存です。第1号には杉本センター長による本紙発刊の趣旨が掲載されています。その精神を引き継いで本紙も充実させていかねばなりません。どうか、さまざまな分野からの寄稿をお願いします。とくに、若い方々には、本誌を起点として発展していけるような場を提供したいとも思っています。意欲的な論文をお待ちしています。

2021年3月

関西大学なにわ大阪研究センター長
乾 善彦